

平成29年度 事業計画

- ◆ 万博記念公園内の一施設として、展示の質の向上や入館者の満足度向上に努め、園内の賑わい創出に貢献します。
- ◆ 不特定多数の入館者の増加に心がけ、また関連の民芸館・美術館・博物館・大学および百貨店ミュージアム等と連携を強めて民芸運動の普及啓発に努めます。
- ◆ 公益財団法人として、事業運営の安定した財政基盤を固めて、真に公益性の高い施設運営を目指します。

1. 民芸に関する公開展示事業

(1) 春季特別展

- ・ 展覧会名称：「菓子木型の世界 ー美をかたどるー」（仮）
- ・ 開催時期：平成29年3月4日（土）から7月17日（月・祝）
- ・ 記念講演会：演題：（タイトル未定）
講師：土田真紀氏（帝塚山大学講師）
日時：平成29年6月4日（日）
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：100名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）
※当日は、民芸作品に直接触れる機会をつくるため、館内で呈茶を企画したい。
※関西・大阪21世紀協会による助成事業（申請中）

(2) 秋季特別展

- ・ 展覧会名称：「九州の民藝 ー受け継がれる技と美」（仮）
- ・ 開催時期：平成29年9月9日（土）から12月18日（日）
- ・ 記念講演会：演題：（タイトル未定）
講師：（予定）鈴田由紀夫氏（佐賀県立九州陶芸文化館）
日時：平成29年10月中旬
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：100名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）
※当日は、民芸作品に直接触れる機会をつくるため、館内で呈茶を企画したい。
※関西・大阪21世紀協会による助成事業（申請中）

2. 民芸関連機関との連携を通じた調査研究、収集ならびにショップ事業

- (1) 春季・秋季特別展関連の民芸品を中心に窯元、出版、家具・染織・紙製作者を通じ、作品を収集し、不特定多数の入館者（ミュージアムショップのみの来場者含む）に廉価で販売。

- (2) 全国17箇所の民芸館および関連の美術館・博物館の展示会情報を不特定多数の入館者（ミュージアムショップのみの来場者含む）に提供。

3. 民芸に関する調査研究ならびに普及啓発事業

(1) みんなげいぜみ及びワークショップ

様々な分野の指導講師による不特定多数の来館者を対象とした研修を実施することにより、民芸の基本的な知識について、普及啓発を図ることを目的として実施する。
秋季特別展の計画は未定。

①みんなげいぜみ

演題：(タイトル未定)

講師：中山圭子氏（株式会社虎屋 虎屋文庫 研究主幹）

日時：平成29年4月16日(日) 14:00～15:30

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：20名（予約制）

参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

②はじめての「民藝」

今年度より初めての方にもわかりやすいように「民藝」を概説する講座を開催する。
特別展会期ごとに1回ずつ、全4回で一通りの基礎を習得できるようにする。各回の内容は独立した講義内容としている。

第1回として以下のとおり予定する

演題：柳宗悦と民藝について

講師：小野絢子氏（大阪日本民芸館学芸員）

日時：平成29年6月25日(日) 14:00～15:30

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：20名（予約制）

参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

なお、第2回の内容は「民藝運動の歴史的経緯」を取り上げる方向で検討している。
（第2回は秋季特別展に合わせ開催予定）

③ワークショップ

演題：「お盆を漆絵と蒔絵で彩ってみよう」

講師：柴田道雄氏（漆工家）

日時：平成29年7月9日(日)

10:00～12:30、14:00～16:30、(2回予定)

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：15名（予約制）

参加費：1800円(大阪日本民芸館の入館料が別途必要)

④ミニワークショップ

演題：「菓子型を使ってみよう」

(樹脂の菓子型と紙粘土を使用してマグネットを作るワークショップ)

講師：大阪日本民芸館スタッフ

日時：ギャラリートークと同日開催 14:30～15:30 (全10回)

会場：大阪日本民芸館渡り廊下

定員：各10名程度

参加費：無料（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

⑤和菓子作り実演

内容：菓子木型を使った落雁・和三盆作りの実演

講師：福寿堂 中西氏

日時：平成29年6月4日(日)

記念講演会・呈茶と同日開催

13:00～13:20、14:00～14:20、15:00～15:20、16:00～16:20 (全4回)

会場：大阪日本民芸館第4展示室・テレビ室

参加費：無料 (大阪日本民芸館の入館料が別途必要)

(2) ギャラリートーク<学芸員による展示解説>

当館学芸員による、不特定多数の来館者を対象としたギャラリートークを実施することにより、開催中の展示に関し、より深く理解できるように導き、民芸の普及啓発を図ることとする。

実施は月2回を原則に、全10回を予定する。

(3) みんなげい市

関西圏を中心とした作り手による陶磁器、木漆工作品・染織の展示販売を通じ、民芸の普及啓発を図るとともに若手作り作家を支援する。

日時：平成29年5月13日(土)、14(日)

会場：大阪日本民芸館周辺

参加民芸作家：20名に拡大予定 平成28年の来場者は約1000名

参加費：無料

※関西・大阪21世紀協会による助成事業(申請中)